

令和5年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会会議録

1 開催日時

令和6年2月22日（木）午後6時30分～午後7時20分

2 開催場所

花巻市役所本庁舎新館1階、3階会議室

3 出席者

花巻市在宅医療・介護連携推進協議会委員 12名

一般社団法人花巻市医師会 中舘一郎、花巻市歯科医師会 狩野敦史、岩手県立中部病院 齊藤 秀典、岩手県訪問看護ステーション協議会 平澤利恵子、花巻地区看護管理者会 佐藤久美子、岩手中部地域リハビリテーション広域支援センター 上川亜矢、花巻市ケアサービス事業所連絡協議会 佐々木一広、花巻市介護支援専門員連絡協議会 峯村諭、社会福祉法人花巻市社会福祉協議会 菊池伸太郎、岩手県南広域振興局保健福祉環境部 佐々木千恵美、岩手県中部保健所 山口司、花巻市地域包括支援センター 根子 裕司

市 7名

健康福祉部長 今井岳彦

健康づくり課 長山義博

長寿福祉課 佐藤ひとみ、小綿みはる、伊藤幸恵、晴山弥子、山口裕樹

4 議事録

（小綿課長補佐）

ご案内の時間となりましたので、これより令和5年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会を開会いたします。

ここで、委員の皆様が今回新しくなりましたので、委員の皆様のご紹介をいたします。

一般社団法人花巻市医師会 中舘 一郎 様

花巻市歯科医師会 狩野 敦史 様

花巻市薬剤師会 坂本 秀樹 様

公益財団法人総合花巻病院 澤田 正志 様

岩手県立中部病院 齊藤 秀典 様

岩手県訪問看護ステーション協議会 平澤 利恵子 様

花巻地区看護管理者会 佐藤 久美子 様

岩手中部地域リハビリテーション広域支援センター 上川 亜矢 様

花巻市ケアサービス事業所連絡協議会 佐々木 一広 様
花巻市介護支援専門員連絡協議会 峯村 諭 様
社会福祉法人花巻市社会福祉協議会 菊池 伸太郎 様
岩手県南広域振興局保健福祉環境部 佐々木 千恵美 様
岩手県中部保健所 山口 司 様
花巻市地域包括支援センター 根子 裕司 様

委員の皆様のご任期につきましては、令和7年9月30日となっておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

開会に当たりまして、健康福祉部長の今井よりご挨拶を申し上げます。

(今井部長)

花巻市健康福祉部の今井でございます。

本日は仕事が終わってお疲れのところ、令和5年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より、本市の健康福祉行政に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、在宅医療・介護連携推進は、医療と介護の必要な状態になっても、自宅など、高齢者と家族の望む場所で人生の最後まで過ごせるよう、切れ目なく支援をし続ける体制の整備を目的としてございまして、連携推進の取組を進めるにあたり、その中核となる在宅医療・介護連携拠点を、平成29年度に設置し、関係機関から選出された在宅医療・介護連携推進員の皆様と連携推進に係る様々な課題の解決に向けた検討と試行を重ねる中で連携の仕組みづくりを構築してきたこととございます。

本日開催の在宅医療・介護連携推進協議会は、医療および介護等の関係機関の代表者で構成される組織でございまして、在宅医療・介護連携推進事業の内容や取組等の共有、今後の在宅医療・介護連携推進の方向性の協議を行うことを目的に平成29年12月に設置されたものでございます。

本日は、今年度実施した在宅医療・介護連携推進事業の取組についてご報告する他、今年度在宅医療・介護連携推進会議で作成いたしました事業の進捗を把握するための指標(案)および来年度の事業計画についてご協議をさせていただきます。

委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただきいただきたいと存じます。

それはどうぞよろしくお願いたします。

(小綿課長補佐)

それでは続きまして、本日出席しております職員を紹介させていただきます。

はじめに、只今、ご挨拶を申し上げます、健康福祉部部長の今井岳彦でございます。
健康づくり課課長の長山義博でございます。

長寿福祉課課長の佐藤ひとみでございます。

包括支援係長の伊藤幸恵でございます。

主任の山口裕樹でございます。

最後に本日の進行を務めさせていただきます課長補佐の小綿と申します。

どうぞよろしく申し上げます。

本日の会議につきましては、委員 14 名中過半数の出席をいただいております、花巻市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により会議が成立することを報告させていただきます。併せて、本会議は花巻市審議会の会議の公開に関する指針により公開する会議となります。会議の傍聴を希望する方がいる場合は、これを認めること、また会議資料及び会議録を市のホームページで公開いたしますことを申し添えます。

それでは、次に次第の 3 番、会長の選出及び副会長の選出に移らせていただきます。

会長並びに副会長の選出につきましては、要綱第 5 条第 1 項の規定により、委員の互選となっておりますが、どのような選出方法がよろしいでしょうか。

根子所長お願いいたします。

(根子委員)

地域包括支援センターの根子と申します。もし事務局案等があれば事務局一任でお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(小綿課長補佐)

ただいま事務局一任の声がございましたが、事務局からご提案させていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。異議なしの承認を受けましたので、事務局の方より提案をさせていただきます。

(佐藤課長)

それでは、事務局から提案させていただきます。

会長は一般社団法人花巻市医師会会長中舘一郎様に、副会長は花巻市ケアサービス事業所連絡協議会副会長佐々木一広様にお願いしたいと思います。

(小綿課長補佐)

ただいま事務局から会長に花巻市医師会会長中舘一郎様、副会長は花巻市ケアサービス事業所連絡協議会副会長佐々木一広様の推薦がございました。

皆様にお諮りいたします。これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。中館様、佐々木様、どうぞよろしく願いいたします。
それでは、ここで会長に就任されました中館様よりご挨拶を頂戴したいと存じます。
中館様、どうぞよろしく願いいたします。

(中館会長)

皆様ご苦勞様でございます。

在宅に関わる医療と介護というのは、これからどんどんまた変わっていく様相を呈するんだと思っております。

医療資源も減少して介護する側も少なくなる予想もされておりますので、もう逐次打ち合わせながらやっていかないといけないので、こういう会議で皆さんと現状を把握しながらやってくのが大事なんじゃないかなと思っておりますので皆さん十分ご意見を出していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。今日はよろしく願いいたします。

(小綿課長補佐)

それでは報告に移らせていただきます。会議の議長は、要綱第5条第2項の規定により、会長となっておりますので、中館様どうぞよろしく願いいたします。

(中館会長)

では会議の方に入っております。

4の報告でございます。令和5度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の取組について事務局より報告をお願いします。

(佐藤課長)

長寿福祉課の佐藤と申します。

それでは私の方から、令和5度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の取組についてご報告させていただきます。

(以下、資料1に沿って説明)

(中館会長)

ありがとうございました。

ただいまの令和5年度の取組についての報告につきまして、何かご質問とかご意見とかございますでしょうか。あれば挙手なり。よろしいですか。よろしければ協議に入りたいと思います。また後で何かありましたらその時点でまたお願いいたします。

では5番の協議に入ります。協議の一番ですね、在宅医療・介護連携推進の取組の成果を確認するための指標について、事務局から説明をお願いいたします。

(佐藤課長)

それでは、在宅医療・介護連携推進の取組の成果を確認するための指標案ということで説明いたします。

(以下、資料2に沿って説明)

(中館会長)

ありがとうございました。

どういふことをするかということではなくて、どういふ風な形で評価をしていくかということのお話でございますね。

これに関して質問とかこうした方がいいとか何かご意見あれば手を挙げるなりお願いしたいんですが。

(平澤委員)

平澤ですがよろしいですか。

ウの切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の急変時の対応で、訪問介護に着目してくれてありがたいんですけども、これの調査方法の介護報酬だけになっているんですが、訪問看護って医療でも提供できて、ステーションによっては医療報酬も、うちとかだと7割3割ぐらいで介護報酬のほうが多いんですが、精神を主にしているところのようなどころは医療保険で加入しているところも結構あると思うんですが、そこも指標に入れることは難しいんでしょうか。

介護保険だけじゃないので訪問看護って、その辺はいかがでしょうか。

(中館会長)

事務局から。

(佐藤課長)

医療の方の報酬の状況をこちらの方で把握できなかったのが、介護報酬だけの算定になります。

(平澤委員)

医療保険での緊急加算の分を知る術はないですかね。

(佐藤課長)

医療保険のほうはこちらで把握できない状態でした。

(平澤委員)

多分県に問い合わせればわかると思います。データとしてはあるはずなので。

(佐藤課長)

県の方からデータを取れるものなのか確認してみたいと思います。

(平澤委員)

ぜひそのようにお願いします。

(中館会長)

今の意見は取り入れる方向で、評価していくというふうな方向を検討していただくという風にしてもらうことで進めていただきたいと思います。

よろしいですか。

(佐藤課長)

はい。

(中館会長)

他に何か質問、意見ございますでしょうか。

なければ、次の議題に入りますけれどもよろしいですか。

2番のほうに移ります。

令和6年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の計画について、事務局よりご説明をお願いします。

(佐藤課長)

それでは、令和6年度花巻市在宅医療・介護連携推進事業の計画についてご説明いたします。

(以下、資料3に沿って説明)

(中館会長)

ありがとうございます。

令和6年度の活動計画、事業計画ということでございます。

いかがでしょうか。何かご質問とかご意見とかないでしょうか。

(峯村委員)

ケアマネ協の峯村です。多職種連携のオンライン化のところだったんですけども、最初の方ですね資料1のところ、オンライン化に関する機材整備状況の調査等の実施という

のは既に行われたことだとしたらどんな感じだったのかなというところを聞いたかったなと思いました。

(佐藤課長)

オンライン化に関する整理状況の調査ですけれども、こちらです令和5年4月24日から5月31日にかけて調査を行っております。

ケア倶楽部に登録のある医療機関、介護事業所を対象に364事業所に対して照会しております。回答があったのが132事業所、回答率は36.3%になっております。

オンラインに関する機材整備状況ですけれども、オンライン会議に必要なパソコン等を1台でも所有している事業者が125事業所で、回答いただいたうちの94.7%が所有していることがわかっております。反対に1台も所有していない事業所は7事業所で、回答いただいたうちの5.3%ということになっております。

オンラインによる多職種連携についてですけれども、まずその前提となる資料のPDF化については78%の事業所が可能と回答しております。メールでの資料の送受信については不可能と回答した事業者がなく、どの事業所もいずれかの人がやり取り可能であることが判明しています。オンライン会議の方法に関する研修会については61.3%の事業所が開催を希望しております。多職種連携の開催形式については72.7%の事業所が対面方式での開催を希望し、15.2%の事業所がオンライン形式での開催を希望しております。ただし、ケースによりオンライン形式で行うことでもいいという回答を含めると、68.9%の事業所がオンライン形式でも構わないという回答になっております。以上です。

(中館会長)

よろしいでしょうか。

(峯村委員)

わかりました。来年度に研修をやるということでしたので、6年度にケアマネージャーおよび地域包括支援センター職員ということだったので、この辺は可能であれば、多職種の連携なので他の業種の方も皆さんがやって、皆さんがホストができるようになっていった方がいいのかなという感じもしました。以上です。

(中館会長)

ありがとうございました。

他にご質問とかご意見とかございませんでしょうか。

(平澤委員)

最初に質問すればよかったかもしれないんですが、在宅医療・介護連携に関する相談につ

いて参考資料2は作られて何年か経っていると思うんですけど、これで相談を寄せてくれている市民さんというのはどのくらいいるものでしょうか。

もし、いないのであればこれを継続していくのはどうなのかなと思ったりもするんですけども。

(中館会長)

事務局お願いします。

(佐藤課長)

参考資料2のこのチラシは医療と介護の関係者向けのチラシになっておりまして、市民向けには、今後包括支援センターの周知ということで強化していきたいというふうに考えております。

(平澤委員)

ごめんなさい専門職でしたね。専門職からの相談というのは実際あるものですか。

(佐藤課長)

お答えします。令和4年度は0件となっております、令和5年度についても現時点で相談はない状況となっております。

(平澤委員)

わかりました。ありがとうございます。

(中館会長)

よろしいですか。ありがとうございます。他に何か。

(佐藤委員)

総合花巻病院の佐藤です。お疲れ様です。

年間計画の多職種が集う会なんですけど、内容は大体のところは決まっていますか。

(佐藤課長)

内容はまだ決まっておりません。今後推進会議の中で検討していきたいと思っております。多職種が集う会の2回のうち1回については包括支援センターの職員さんを講師に招いて、包括の役割についてお話していただく内容にしたいと思っております。

(佐藤委員)

これからの高齢者において、やっぱりリハビリと栄養、昨年やりました。それとプラス歯科領域や口腔ケアというか口腔環境のところ連携が必要だというふうになってきておりますので、できればそこら辺のところの集う会のテーマにさせていただくと、すごく私達も勉強になるなと思うんですけど、ぜひ検討をお願いします。

(中館会長)

事務局よろしいでしょうか。

(佐藤委員)

はい。

(中館会長)

他に何かご意見ご質問ありましたら。

私から一つあるのは、ACP みたいなのをもっと普及させるためにはこの計画では進まないような気がします。

ですから、出前講座的なものをやらないとお年寄りがいるところに出て行って、ACP はこういうふうに書くんだよとか、実際お話してあげないと ACP の普及には繋がっていかないんじゃないかなと思うんで、その辺を少し考えていただけるといいかなと思っています。これ意見ですので、少し検討課題にしておいてください。よろしく願いいたします。

他に皆さんのほうからご意見とかなければ協議はこれで終わりにしたいと思いますがよろしいでしょうか。

では、協議のほうを終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(小綿課長補佐)

中館会長ありがとうございました。

次に6その他でございます。皆さま何かございますでしょうか。ないようでございます。

それでは事務局からの報告が一つあります。

画面を共有させていただきます、ご説明をさせていただきます。

岩手県保健医療計画へ在宅医療に必要な連携を担う拠点を位置づけることについてということでご説明いたします。

県では、医療法に基づく第8次岩手県保健医療計画、計画年度は令和6年度から令和11年度の策定に当たりまして、在宅医療を推進する上で、介護との連携が重要であることから、在宅医療に必要な連携を担う拠点を新たに設定することとされました。

位置づけに当たっての基準については、在宅医療に必要な連携を担う拠点は、在宅医療の提供体制構築を図るため、より多くの市町村単位で位置づけることが望ましいとされてお

り、現時点で四つの目標があります。

この四つの目標、多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制の構築を図ること。二つ目、在宅医療に関する人材育成を行うこと。三つ目、在宅医療に関する地域住民への普及啓発を行うこと。四つ目、災害時および災害に備えた体制構築への支援を行うこと。

拠点に求められる事項の一部を担っている花巻市在宅医療・介護連携推進協議会、本協議会をその拠点として、次期保健医療計画に位置づけることとして、承諾することとして県にご報告をしたところです。

本日は岩手県中部保健所の山口管理福祉課長様がいらっしゃっておりますので、補足の説明をよろしく願いいたします。

(山口委員)

中部保健所管理福祉課長の山口でございます。いつも大変お世話になっております。

ただいま小綿補佐から話があったところでございますけれども、岩手県の次期医療計画6年の計画ですね、現在策定中ということなんですけれども、国のほうから今回の医療計画においては、在宅医療の需要増加と踏まえて在宅医療に必要な連携を担う拠点というものを在宅医療に積極的役割を担う医療機関というものを、計画に位置づけるようにということで指示が出ておりました。そのことも踏まえまして、この拠点の求められる機能ですね、目標あとは在宅医療に必要な連携を担う拠点に求められる事項五つございますけれども、この部分について見たところ、今皆さんが行っている各市町で行われている在宅医療・介護連携推進事業と非常にリンクする部分が多いということでもあります。

先ほどの協議で指標の取り組みの関係をやっておりますけれども、この事業でやられている、アからクの8つの項目、これと今のこのこちらに書いております医療計画で求められる、拠点としての事項とほとんどリンクするというようなことがございますので、岩手県のほうの考え方としては、この介護のほうで行われている在宅医療・介護連携推進事業を取り組まれている市町およびこの協議会の皆様の活動を医療計画としても拠点として位置づけをさせていただけないかということを考えまして、夏のあたりから各市町に選定に向けたご説明を行ってきたところでございます。

そして資料の裏面の3番の後の方でございますけれども、管内の四つの市町全ての市町からですね、ご了承いただきまして、各推進協議会、あと遠野市さんにおきましては、これまで推進協議会を組織していなかったもので、今後組織するということになりますけれども、各市町の全部の市町から拠点としての活動をお願いするということでしたら承をいただいたところでございます。

なお、今回資料はございませんが、今回の拠点と併せて、医療計画の方に位置づけられる積極的役割を担う医療機関につきましては、当管内では、10の医療機関から立候補というか手上げをいただきまして、これを計画に位置付けるということにしております。10の中

で花巻市さんにおいては、岩手県立東和病院および総合花巻病院さんの方から一応手挙げをいただいておりますので、これを計画に位置づけるということとしております。

補足については以上でございます。

(小綿課長補佐)

ありがとうございます。皆様の方からご質問等ございますでしょうか。

(峯村委員)

今のところで、障害福祉のというところも入っていたんですけど、これから協議会の方にも、関係団体として障害福祉の方も入っていた方がいいんじゃないかな、なんて思ったんですけどその辺ってどうなんでしょう。

(佐藤課長)

障害等についても取組項目の中に含まれておりますので、今後検討してまいりたいと考えております。

(峯村委員)

ありがとうございます。

(小綿課長補佐)

よろしいでしょうか。

この他に何かございますでしょうか。ないようですのでその他のところを終わりたいと思います。

それではこれもちまして、令和 5 年度花巻市在宅医療・介護連携推進協議会を閉会とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。